

《大会プログラム》

第1日 4月18日(土) 全学教育推進機構講義 B棟(2F)

10:45~12:00	理事会・評議員会	(A205)
13:20~13:30	開会の挨拶 会長・吉田 憲司	(B218)
13:30~16:20	報告と対話:「マイノリティ」と「アート」—それぞれの「線引き」をこえて	(B218)
13:30~13:45	問題提起	岡田裕成
13:45~14:20	フチ(祖母)ハボ(母)からの伝承	宇佐照代(アイヌ文化アドバイザー、 アイヌ料理店「ハルコロ」店主)
14:20~14:50	わたしを束ねないで	上田假奈代(詩人、NPO 法人ココル ーム[釜ヶ崎芸術大学]代表理事)
14:50~15:20	少数者の音声を録音することについての省察—音楽史・ 芸能史に源泉/霊性を求めた人々を事例として—	鈴木聖子(大阪大学、日本音楽史・文 化資源学)
15:20~15:30	休憩(10分)	
15:30~16:20	対話:宇佐照代、上田假奈代、鈴木聖子、岡田裕成(司会)	
16:20~16:35	休憩(15分)	
16:35~17:30	総会、第23回木村重信民族芸術学会賞授賞式	(B218)
18:00~20:00	懇親会 (Bakery Restaurant & Cafe The LOAF Cafe)	

第2日 4月19日(日) 全学教育推進機構スチューデント・commons総合棟 I(2F)・セミナー室 B

9:20~11:50	一般発表 (発表20分、質疑応答5分、入れ替え5分)	
9:20~9:45	明清代の「山海図」における「キメラ的イメージ」の表現	単 焯焯(美術)
9:50~10:15	ネパール南東部先住民ディマールにおける民族衣装の変化	三木 陽子(服装)
10:20~10:45	手織物の伝承活動で何を作り伝えるのか—尾張もめん伝承会の織物制作をめぐる選択	伊藤 紫(文化人類学)
10:45~10:55	休憩(10分)	
10:55~11:20	美術の現場における権力と、協働の方法について	渡辺 亜由美(美術)
11:25~11:50	吊いの場をひらく技法—石巻・渡波の家と被災物の「再生」ワークショップの試みから	丹羽 朋子(文化人類学)
11:50~13:00	休憩(70分)	
13:00~17:15	一般発表	
13:00~13:25	ともに彫り、ともに刷る—Pangrok Sulapの木版画実践と社会的役割	廣田 緑(現代美術)
13:30~13:55	徒弟制のなかの芸術実践—ガーナの看板工房での制作、習作、協働的展示	森 昭子(人類学)
14:00~14:25	フィリピンにおける社会的リアリズムの存在論的検討	丹羽 理(文化人類学)
14:30~14:55	藤田嗣治と写真—中南米旅行期を中心に	森本 陽香(美術)
14:55~15:10	休憩(15分)	
15:10~15:35	戦前における盲学校の音楽教育にメディアが果たした役割—点字新聞『点字大阪毎日』による事業を通して	村山 佳寿子(音楽)
15:40~16:05	フラダリック・モンポウ「ピアノ演奏のための表現法」研究—ピアノ以外の楽器のための作品における「響き」の記号について	内藤 多寿子(音楽)
16:10~16:35	唐代天竺伎の鳳首笙篳—その実像をミャンマー、カンボジアに求める	由比 邦子(芸術史)
16:40~17:05	慶長期における非専従能役者間の相伝—下間少進伸之から秋田城介実季への相伝目録を中心に	岡田 登貴(演劇)
17:05~17:15	閉会の挨拶	